

長崎倶楽部 No.48

2015.1.29

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

● 巻頭インタビュー 39 / 榎沢利博	1	● イベント予告	12
● 講演会	6	● 新刊紹介	13
● ひと	10	● HOT NEWS	14
● 会社訪問	11	● ESSAY	20
● TOPICS	12	● 長崎県人クラブ NEWS	21

題字：吉田 佳広



巻頭インタビュー

39

私と長崎

榎沢利博

元三菱東京UFJ
銀行 常務
前 兼 松 会 長、
東銀リース監査役

銀行マンとして「誠実・克己・勇氣」

「明るいは強い」を座右の銘としてきました

今回は銀行マンとして米英で勤務し、わが国最大のメガバンクの役員時代は日本の不良債権処理にも携わり、商社役員も体験された榎沢利博氏です。海外勤務のエピソード、趣味など話は縦横に展開しました。

（聞き手：当クラブ常務理事 牧山康敏、写真：菊スキップ・スタンパ代表 井口尚美）
取材は平成26年11月27日

リース業界の業績 大小で明暗分ける

東銀リースの監査役に就任されて半年余り。リース業界の状況はどうか。消費税引き上げの影響などは。

榎沢氏 平成26年度上半期は消費税引き上げによる需要減少並びに円安が輸出関連設備投資増に結びつかず企業の設備投資全般が伸び悩んだことから、リース業界全体の取扱高は前年比マイナス11・4%でした。一方大手各社については海外取引、航空機リース、不動産関連リース及び不動産関連リースが伸びた為、収益は増加しました。

——このところ円安が進んでいますが、影響はどうですか。アベノミクスについては。

榎沢氏 円安により外貨建取引額は増加しましたが、国内企業の生産拠点の海外シフトが進んでいる為、関連設備投資は伸びておら

新聞記者を志望して早稲田大学政経学部に入りましたが、マスコミの試験が4年生の1月期末で遅く結局、ある人の紹介で東銀を受験しました。

ず、全体としてはほとんど影響は無いと思います。アベノミクスについては、まさに踊り場だと思えます。第一の矢、第二の矢はほぼ思った通りの効果が出ていると思いますが、第三の矢である規制緩和や構造改革はこれからが胸突き八丁目でしょうね。

◆◆◆ 入社試験は英文の 社説和訳で奏功

ある人の紹介で東銀の試験を受けることにしました。

——それが見事に合格ということに。

樫沢氏 試験は英文朗読と和訳及び口答試験でしたが、その英文がアサヒビブニングニュースの当時の日米繊維交渉に関する社説でした。新聞社志望ですから各社のオリジナル社説はほぼ総て読んでいましたので和訳だけは、ずば抜けて良かったのでしようね。

◆◆◆ 同級生からは「金融独占に 身を売った」と批判

大学の学生課に行くと、早稲田は金融業界に弱いのは是非とも行けと。ところが同級生からは「樫沢は金融独占に身を売った」と批判されてね。

◆◆◆ 東銀入行3年目で ニューヨーク勤務

——東銀に入られて3年でニューヨーク支店配属になりますね。ニューヨーク勤務で印象的なことは。

樫沢氏 トレーニーとして1975年12月から1978年5月まで2年半いました。最初の4か月が支店での外貨デイトリング業務、次の6か月がミルウォーキーでの米銀研修でした。支店勤務は朝7時から夜10時頃までというまさに徒弟でした。

ミルウォーキーではテストロン社のミラー会長の連邦準備議長就任情報をいち早く東京本店に連絡。

た。ミルウォーキーでは英文財務諸表の読み方、審査、担保実査そして仕上げに銀行の自家用ジェット機による大企業訪問という米人ローンオフィサーと全く同じ教育を受けることが出来ました。或る時ミルウォーキーの商工会議所から研修先に日本人の銀行員を貸して欲しいという要請がありました。

◆◆◆ 日本女子ハンドボール チームの応援も

1976年モントリオールオリンピックの女子ハンドボールの最終リーグ戦を日本、アメリカ、オーストラリアの代表チームが闘うので、日本チームの通訳が欲しいとのこと。もちろん全面協力です。日本から来ていた留学生を全員動員して応援団を組織し、全試合応援したり、週末のオフには女子選手全員を郊外ドライブに連れて行ったりしました。結果は日本チームが優勝しオリンピック出場を果たした訳です。東銀ニューヨークに掛け合って予算をもらい日本チーム全員をミルウォーキーのレストランで慰労出来たことは、

今でも私の誇りです。米国の建国200年祭はミルウォーキーで祝いました。

——その後ニューヨークに戻られた。

樫沢氏 東銀の現地法人で米国のトップ300企業を中心とする、外資系企業への融資及び取引仕事が業務でした。たまたま担当していたコングロマリットのテストロン社のミラー会長がカーター政権下で連邦準備銀行議長に就任することになったのですが、日本では未知だった同氏の略歴及び背景を本店へ第一報したのが思い出深いですね。この情報は直ぐに大蔵省に届けられたと聞いています。1977年のニューヨーク大停電に遭遇したのも印象的でした。

——ニューヨーク勤務から10年後にはロンドン支店勤務ですね。

樫沢氏 1985年12月から1991年11月までまる6年いました。イギリスの他、アイルランド、スイス及び北欧4国の外資系企業への融資及び取引仕事が業務でした。日本円及び邦銀の力が極めて強くなった時で



1985年末から6年半ロンドンに勤務しました。 日本円や邦銀の力が強くなった時で 日本の存在感は大したものでした。

したから、シンジケーションロ
ーンをはじめとし日本の存在感
は大したものでした。一方、自
己資本規制にみられるように、
邦銀を対象とする規制強化の動
きや、欧米金融機関の高度なソ
フトパターンには太刀打ち出来
ない面がありました。

◆ ◆ ◆ サッチャー政権の 光と影の部分も

この間、イギリスに於いて
は、サッチャー首相の指導の
下、産業経済が復活したのです
が、後半は破綻企業が増える
という「サッチャー政権の光と
影」を見ました。企業の金融支
援に関し、銀行団の一員とし
て、イングランド銀行と度々
交渉しましたが、「日本はメイ
ンバンク制度が強いので取引
先企業はつぶさない」と言っ
たら、「そんなことは続かない」
と言われましたが、日本に帰っ
たらまさに不稼動債権処理の担
当になりましたね。

——ニューヨークとロンドンの
金融の違いは感じましたか。

樫沢氏 ニューヨークは自由競
争の下、あらゆる動きがダイナ
ミックでしたが、銀証分離が厳
格でした。ロンドンは閉鎖かつ
硬直な国内金融制度を開放、変
革しようとする「ビックバン」
とユーロ市場の拡大とユニバー
サルバンキングの流れが合流し
て行く大きなプロセスといった感
じでした。

——本店勤務になり、平成8年
の東京銀行と三菱銀行との合併
です。平成13年に執行役員、15
年に常務執行役員、15年に常務
取締役就任されます。東銀は
外国為替専門銀行としての確固
たる地位を築き、方や三菱銀は
財閥系銀行の雄として一般企業
中心に幅広い融資で実績があ
る。合併当時、違和感はありません
でしたか。

樫沢氏 合併準備の1年間、融
資・審査制度及び体勢全般を検
討する小委員会の東銀側事務局
長を務めました。連日あらゆる

角度から挙挙謂の議論を行
い、各行の決定を経て委員会と
して合意するというプロセスを
繰返しました。両行ともほぼ同
じ長さの歴史と日本を代表する
銀行であるという矜持を有する
ことから難航する局面は多々あ
りましたし、合併後も調整事項
はありましたが、公益に立つ、
顧客起点及び信義を守るとい
う基盤は同じですので、信頼関係
が揺らぐようなことはありません
でした。

——常務時代は企業の不良債権
処理にもあたられたそうですね。

樫沢氏 当時は審査第一部長と
していわゆる前線指揮官の役割
を担っていました。現場の正確
な状況を意見具申とともに経営
トップに上げ、それを踏まえた
経営トップの方針を組織全体に
浸透させるとともに個別案件対
応を指揮しました。今「不良債
権」という言葉を使われました

が、私共の行内ではその言葉は
使わず「不稼動債権」と言っ
ておりました。いやしくも顧客に
銀行目線で不良というレッテル
を貼ってはいけない戒めからで
す。顧客の事業が「業」として
成り立つのかどうか、成り立つ
のであれば金融支援を含め出来
る限りの支援を行う。成り立た
ないのであれば、体力のあるう
ちに転業、あるいは廃業して頂
くという方針が大前提にありま
した。実際は本当に大変でし
た。常務の時は事業再生を担当
しました。

——不稼動債権処理には相当神
経を使われましたね。小泉内閣
で竹中平蔵さんが金融担当大臣
でした。

樫沢氏 当時米国政府は日本発
の世界金融恐慌を出してもらっ
ては困ると、日本政府に強硬に
言ってきたいました。竹中大臣
はこの問題の抜本解決の為には

メガバンクの国有化も辞さない
という姿勢でした。又、世論も
銀行に対し批判的でした。かか
るなかで「誰にも頼らず問題を
自分の責任で解決する、先送り
しなし。日本の公益に立つ、顧
客に最大の配慮をする」という
方針の下、頭取以下一丸となっ
て対応しましたが、本当に厳し
い時代でした。

——三菱東京UFJ銀行の後、
関連会社の監査役などを多く務
められ、平成22年には商社の兼
松の専務、会長に就かれまし
た。銀行と商社の違いについて
お願いします。

樫沢氏 銀行はカネの世界、商
社はモノの世界と言えましょ
うか。兼松の長崎に関係する具
体的な取引で言えば、五島沖で獲
れたサバを年間400トンくら
いベトナムへ持っていき、回転
寿司のネタ用に加工して日本に
戻しています。雲仙ではレタス

ニューヨークとロンドンの違いといえばニューヨークは自由競争下で

動きがダイナミック。ロンドンでは閉鎖的・硬直的な金融制度を変革しよう。



東銀と三菱銀行の合併時は合併準備の1年間、融資・審査制度などを検討する
東銀側事務局長を務めました。両行とも公益に立つ、顧客起点など信義を守る基盤は
同じで信頼関係が揺らぐことはありませんでした。



農家と契約し、関東のスーパーを通じて販売しています。又、五島でのEV（電気自動車）の実証実験に急速充電器を提供したりもしました。

——これまで金融マンとしての経過を中心に伺いました。ここで話題を変えて青少年時代の思い出をお話しいただきたい。ご出身は南島原市南有馬ですか。

樫沢氏 南有馬は父親の出生地で、本籍地です。私が生まれたのは長崎市の愛宕町で、3歳の時には大阪に移りましたので南有馬で暮らしたことはありませんが、小学校の夏休みに1か月程帰っていた時の記憶と現在の情景がシンクロします。小学校は兵庫県西宮市で4年生の途中で名古屋市内に転校し、その後中学校3年生の1学期までおりました。夏休みの直前に長崎に戻り長崎中学に転入し、高校は長

崎東校に進みました。

——度々転校されていますが父さんの勤務の関係ですか。小中学生の頃はどんな少年でしたか。

◆◆◆ 名古屋では勉強集中 長崎ではクラブ活動

樫沢氏 父親が銀行員でしたので転勤の度に転校しました。子供の頃は腕白で餓鬼大将でしたね。名古屋では「三英傑」と言っていて、信長・秀吉・家康を称える風潮があるので、子供心に影響されたのでしょうか。名古屋で通った中学はNHKで放映されていた「中学生日記」のモデルとなった学校です。進学校で「勉強 勉強」でした。長崎に来て本当に解放され、テニス部や合唱部の活動に励みました。高校ではESSに所属しました。「聖

母の騎士教会」のポーランド人の神父さんに来て頂き、英語版聖書の購読指導を受けていました。また、2年生の文化祭ではシェークスピアのマクベスを演じたりしました。

◆◆◆ 大学生活は全共闘時代

——大学は新聞記者を志望して早稲田に進まれた。どんな学生生活でしたか。

樫沢氏 学校にはあまり行きませんでした。特に1学期は行った記憶がほとんどありません。当時は全共闘運動が盛んな時代で、学校のみならず社会全体が騒然としていました。4年間で筆記試験があつたのは1年の時だけで、あとはレポート提出でした。大隈講堂で政治講演会が開催された時や野球の早慶戦の時は休講になりました。神宮球場の外野芝生席から吉永小百合さんが観戦に来て内野席が大騒ぎになるのを見ていました。ちなみに私は「コマキスト」でしたが、私は過激な運動には参加しませんでした。が、情情的には

私が生まれたのは長崎市の愛宕町です。3歳の時、大阪に移り

小学校は兵庫県と名古屋の学校。中学3年の夏休み直前に

長崎に戻り長崎中学転入。高校は長崎東高です。

趣味のゴルフは常に「百獣の王」です。 ロンドン勤務時代、

送別ゴルフを年2回しかやりませんでした。 帰国後、上司から

「ゴルフをやらなければ顧客担当はさせない」と言われ：

理解できましたね。

小説を書いては文学界などに投稿しましたが、載ったためしはありません。銀行に入ってから業務の書類書きで手一杯でした。

—— 櫻沢さんの信条、座右の銘は何でしょう。

櫻沢氏 座右の銘としては「誠実、克己、勇氣」。学生時代に読んだ中川与一の小説「天の夕顔」の主人公の言葉です。次に「明るい強い」という言葉。明るい組織は必ず伸びて勝つと思っています。3つ目は苦しい時こそ一歩前に、ということ。バカ覚えのごとくこの3つを守っています。

◆◆◆
今は月2回やるもいつも「百獣の王」

—— 素晴らしいことですね。次いで趣味をお聞かせしましょう。

櫻沢氏 ゴルフ、読書、映画鑑賞でしょうか。ただゴルフは下手の横好きでスコアは「百獣の王」です。ロンドン勤務時代、送別ゴルフだけ年に2回しかや

りませんでした。レストランに行つて食事をしないで出て来たのと同じです。それとも「あんな広い土地があるなら野菜でも作ればいいのに」と思っていたのですよ。帰国して上司からゴルフをやらないなら顧客担当

はさせないと云われ、初めて或る船会社のオーナーと回った時のスコアが170。翌朝一番でオーナーから電話があり「お前の人格を疑うぞ」と叱られました。以来数だけは人一倍やりましたが、スコアは向上しませんでした。今は月2〜3回のペースです。

—— 読書はどんなジャンルですか。

◆◆◆
映画寅さんシリーズ全部見ています

櫻沢氏 政治、経済、ミステリー、長崎ものを含む歴史物などです。年間100冊を目標にしていますが、60冊ぐらいですかね。映画はハッピーエンドものが好きです。ちなみに寅さんシリーズは全部見ています。

—— 櫻沢さんは長崎市の観光大使でもあります。長崎の観光振興についてのお考えを。

櫻沢氏 長崎全県は観光資源の宝庫ですが、全体像及び価値が県民に今一つ認知されていない気がします。対外発信の一層の強化とともに対内発信にも努力することに全県的認識の向上が必要なのではないでしょうか。又、各地の歴史遺産の再発見に

努力するとともに点を面につなげる仕組みを強化してはどうでしょうか。たとえば長崎市に滞在しながら、キリスト教関連遺産や島嶼を巡るツアー等を重点的に作るとか。これは「さるく」の全県展開です。更に1か所に問い合わせれば交通機関だけでなくホテルや病院といった旅行者に必要な総ての情報が外国語でも入手出来るソフトインフラの構築です。学生達に参加して

◆ 利博氏プロフィール

生年月日 昭和23年9月5日
出身地 長崎県南島原市南有馬
略歴 昭和39年3月 長崎県立長崎東高校卒業
昭和47年3月 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
昭和47年4月 株式会社東京銀行入行
昭和50年12月 ニューヨーク支店
昭和60年12月 ロンドン支店支店長代理
平成5年10月 審査部次長兼審査役
平成8年4月 合併 株式会社東京三菱銀行
平成15年6月 常務取締役
平成22年5月 兼松株式会社 顧問就任
平成23年4月 同社 代表取締役会長
平成26年6月 東銀リース(株) 監査役就任
平成26年9月 綜通(株) 監査役就任
現在に至る キョーラク株式会社顧問就任

その他

長崎市観光大使
早稲田大学商議員

たとえば観光と教育のバリューチェーンが出来ると思っています。こうした展開は行政主導ではなく、民間の経済活動の一環としてやるのが、地域活力増強並びに持続性からみて一番いいですね。

—— 最後に長崎県民とりわけ若い青少年に対する励ましのメッセージをお願いします。

櫻沢氏 若い頃は生意気なくらいがいいですよ。思ったことを

伸び伸びとやること。「世間の常識」に囚われずに、自分の可能性を試すことが大事だと思います。長崎の将来と富は自分がつくるという意識と気概を持つてください。

—— 本日は多岐にわたり有意義なお話しを長時間にわたり有り難うございました。

長崎県は観光資源の宝庫ですが、

全体像や価値が県民に今一つ認知されていない気がします。

各地の歴史遺産を再発見し点を面に繋げる仕組みを強化しては：

平成26年秋の講演会

講演日：平成26年10月28日

「脱原発」で考える

講師 金子 和夫氏

皆さんこんばんは。長崎県人クラブの集いにお招き頂き私の拙い話に貴重なお時間を頂いたことに心より感謝申し上げます。本当に有難う御座います。

本日はハイテク関係の会社経営に長く携わり科学する心を生き方の基軸にしてきた私が原発問題について考えてきた率直な思いを限られた時間ですが、お話ししたいと思います。ご承知のように3・11東日本大震災以来、とりわけ福島第一原発の事故で日本中に脱原発の声が一挙に噴出し、少しでも異論を唱えることはまさに悪のような存在となってしまうしました。

確かに、被災された方々は永年、住み慣れた愛する土地を離れることを余儀なくされ、不自由な生活を強いられています。いつ戻れるか判らない。被災地の方達にとってはもとより、使用済み核燃料の処理方法も見えていない状況であれば、当然のことでしょう。日本経済を支えるエネルギー問題や二酸化炭素の増加など環境面への視点は差し置いても「脱原発」はやむを得ないことだと、私も思っ

どうしてこの本を書いたのか

いました。

もともと、原発は安全性を可能な限り講じて使用済み核燃料の処理が最大の課題でした。しかし、容易に処理できる方法があることを元東大総長で現在における我が国の原子力学の泰斗である有馬朗人先生から教えていただきました。それは、有馬先生が書かれた次の一文に端的に示されています。ここにその一文を紹介します。

「トリウム熔融塩炉は、放射性廃棄物の発生も非常に少なく、プルトニウムを発生しない、使用済み核燃料も最終処理しやすいという利点があります。したがって、トリウム熔融塩炉の技術開発を早急に進めるべきです。この緊急に求められている、後始末という大問題を解決する仕事に加えて、トリウム熔融塩炉の技術開発を行うことで、人も育つし、原子力に携わった多くの人達の職も維持されます」

私はこの有馬先生の知見に限りない勇気を頂きました。胸が震え

るような感動を覚えました。そこで、大震災を機に沸き起こった感情論的な「脱原発」ではなく私なりに考えていたことを書き溜めてきました。ある程度まで書いたところでその原稿を、知人を通して有馬先生にお渡し、一週間程後にお伺いしました。思いもかけず、先生は「良く書けているから、私の文章も載せて早く出しなさい」と言われたのです。

そのような訳で、拙書『脱原発で本当に良いのですか?』は世に出たのであります。

事故はなぜ起こったのか

3・11後、私はある知人の紹介で服部頼勇さんにお会いしました。服部さんは40年前に東電から呼ばれ、福島原発の設計段階から関与された方でした。当初から、原子炉を正常に運転し続けるには、冷却水を継続的に流し続けることが大切だ。其の為には、主電源がストップした場合には、非常用電源がとて

も大事になる。日本は地震国だから装置の三倍の非常用電源装置を別々の場所に、しかも別々の

の原理の装置を常時運転させて置くことが絶対必要である、と進言していたのです。にもかかわらず、アメリカではそのようなことはしていない、経済的にも無駄だ、との理由でそれが却下されたとの話を聞くに及び、あの事故をもたすに至ったのは、まさに東電の責任であるとの思いを一段と強くしました。

福島第一原発の場所より震度が大きかった女川原発が、正常な状況で停止されたことは確かな事実です。そのことも考え合わせると、更に詳細な検証が求められてしかるべきですが、私は地震で原子炉が暴走したのではなく、本来なされるべき対応に手抜きがあったがために大惨事に結びついたのでは、と考えるを得ませんでした。

福島第一原発では、事故の数年前に非常用電源を高台に追加したらどうかとの案も出ていたとのこと。それが実行されなかったのは誠に残念なことです。

原子力村には安全神話がはびこっていたことは否定できません。誘致の政策上からも「絶対に事故は起きない」と言わざるを得なかったでしょう。「もし事故が起きたらどうするんだ」などと口に出しようものなら、つまはじきにされかねない状況だったとも聞きました。だからこそ、短絡的に「原発」を悪魔の存在として切り捨て

ではなく、安全神話を神話に終わらせない方向に英知を集めて進むべきだと訴えたいのです。

原子炉の上には冷却する為のコンデンサーが設置されています。これは異常状態が起これば、炉内の冷却水の温度が上昇した場合に冷却する為の装置です。電源が正常な場合には、自動的にコックが開かれ、炉内からコンデンサーに流れるのです。しかし、電源が喪失した場合にはマニュアル操作でコックを開けなければなりません。今回の場合まさにこの状況になったのです。しかし、どうしたことかコックの開け方を知らなく、結局、コンデンサーは使われない状況で終わってしまったのです。その結果、原子炉内の冷却が出来なくて高温状態となり、水素爆発を起こしたのです。「原発」に直接関わる人々も「安全神話」に犯されていったとしか言いようがありません。

事故後の対応

私はある勉強会で中山智夫さんという方と知り合いになりました。彼はアメリカからヘリコプター等を日本に輸入する仕事の経営者です。3・11の時、彼は航空に関する会議でアメリカに行っていました。そこで、原発事故を知り、これは大変だ、スリーマイル島での事故の時、どのように処理したか

を関係者に尋ねた。返ってきた答えは「スーパータンカーで水を空からジャブジャブ流して、放射能を遠方へ飛び散らないようにした」。それを聞いた中山さんは、直ちに官邸に電話したがどうにも話しが通らない。これではラチがあかないと慌てて帰国した時に、私は偶然に出会い顛末を聞きまし

エネルギー政策への国の考え

たとしか感じられません。非常用電源が高台にあったら、6号機が安全に停止したことを考慮すればなおさらのことです。あのような発言は出てこなかったでしょう。

「脱原発」となれば、我が国の

経済的な問題をはじめ温暖化等々の数多くの課題をどうするのか。エネルギー政策を根本から考えて方向性を打ち出す必要があるにもかかわらず、突発的な結論の出し方にも憤りを覚えました。

科学を愛する私としては、脱原発路線をこの国が進めた場合、大きな心配事は原子核物理を専攻する学生が減ってしまうことです。

東芝では原子炉関係者が配置転換された、との話も伝わってきています。各大学でも受講生が確実に減っています。日本の将来、また原子力の平和利用という人類的課題に向けても憂うべきことではないでしょうか。今、核物理学分野は世界的に高いレベルのところに来て

います。日本の研究を中断させてしまうようなことにならないか、本当に心配しています。

また、ここに来て電力会社は震災以降大きな話題を呼んだ太陽光などの再生エネルギーの受け入れ手続きを相次いで停止するという問題も出てきています。政府は慌てて対処するしていますが、順

調に伸びてきた再生エネルギーの普及に冷水を浴びせました。

更に、国は原発事故後の電力の供給不足に対応するため、石炭火力の新設を事実上解禁しました。

石炭は大量の電気を安定供給できるベース電源です。発電コストは

液化天然ガスや石油より安い。でも、石炭火力には地球温暖化の原因による二酸化炭素の排出量が多い弱点があります。それなのに、出力112,500KW未満の小規模な石炭火力の計画は急増しています。現時点ではこれを規制する強力な手段はありません。いづれ限界が来ることは環境面からも明らかです。

結局、政府のエネルギー政策は右へ行ったり、左へ揺れたり、その場しのぎで確たる方針が見えないのです。このことにも、私は怒りを禁じえないのです。

トリウム熔融塩炉

前述した有馬先生が待望されていたトリウム熔融塩炉の件ですが、すでに40年程前に原子力物理学者の古川和男さんがアメリカ・オークリッジ国立研究所で実験炉として4年間(1965～1969)無事故で運転し、安全が証明されていたのです。現実には「トリウム熔融塩炉」の実用化への道は閉ざされたのです。当時のカーター大統領が、プルトニウ



ウムを発生しない原子炉はあり得ないと言わんばかりにアメリカでの研究をストップさせたのです。それにより、しばらくこの分野では古川さんに背を向ける状況が永く続きました。それでも

古川さんの支持者達は2008年にNPO「トリウム熔融塩国際フォーラム」を立ち上げ、更に2011年には株式会社「トリウムテックソリューション(TTS)」が設立されたのです。古川

◆ 金子 和夫氏プロフィール



○現職
アイコンテック株式会社 代表取締役会長

○略歴
・1935年長野県松代町生まれ

・中央大学工学部卒業、同大学修士課程終了

・日本エンジニアリング株式会社創業。

・神奈川県中小企業同友会代表。

・朝日新聞「かながわ100人の肖像」で紹介される。

・中央大学商議員および同大学学生会川崎白門会会長。

○著書
「脱原発」で本当に良いのですか？



講演中の金子氏

非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 ファウンテック

代表取締役 万 谷 正

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL 03-5218-8291 FAX 03-3214-8091

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail fountec@foutech.co.jp

営業所： 東京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

大阪 大阪市淀川区西中島5-2-5 中島第2ビル408

九州 福岡市博多区博多駅前2-17-15 NPCビル3F

技術部： 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

工場： 奈良 奈良県御所市室493

栃木 栃木県鹿沼市茂呂2611-12

さんは残念ながら、私が『原発で本当に良いのですか?』を執筆中の2011年12月14日に亡なりました。その遺志は現在、古川さんの弟である古川雅章さんに引き継がれています。

私もご縁を頂き、TTSの株主となり今日では取締役会長として特許関係の資金と政府関係への折衝役を仰せつかっています。2014年に入り、電力中央研究所におられた木下幹康博士が専務になられ、当社の町田研究室で測定とソフトの開発もスタートしています。

また、わが国には稼働している実験炉が無いためにノールウエーのハルデン研究所と契約を交わし、実用化へ向けて具体的な取り組みが始まっています。ハルデンからは11月5日に責任者が来日し13日までの滞在期間に詳細を詰めるところです。この間、関係省庁の政治家とも会っています。ともあれ、確実に第一歩は踏み出しました。今年度からは、更に政府にも働きかけ、認めて頂く様に頑張っています。今年をトリウム熔融塩炉元年にするべく努力しているところです。

原発への今後の取り組み

今、日本は「脱原発」か「原発依存」か、世論は二分しています。どちらを選択するにしても、様々

な課題が人々の生活と安心を脅かさざるを得ないのです。では第三の道はないのか。実は「ある」というのが私達の目指すトリウム熔融塩炉なのです。わかりやすく言う、使用済核燃料を乾式フッ素ガスで処理しフッ化ウランを酸化ウランにして、再核燃料とします。残りの4%のプルトニウムと他の物質等をトリウム熔融塩と混ぜた液体で核反応を起こすシステムを構築することです。

具体的には、先ず使用済み核燃料をフッ化ガスで処理したプルトニウム等をトリウム熔融塩液体と混合して、カプセル内に封入。これを軽水炉の中に燃料棒の一部として挿入し、ウラン棒と同居して燃焼させる方法です。こうすることで、使用済み核燃料を処理し、新しい核燃料をセーブすることも出来るのです。これを私達は原子炉の中に入れた原子炉という意味から、「リアクター、イン、リアクター」即ち、「R IN R」と呼称しています。

次に、使用済み核燃料をフッ化処理し、此れにトリウム熔融塩を加えて核反応を起こさせるのですが、それには火付け役として中性子を入れます。それにより起きた核反応の冷却水としても、トリウム熔融塩液体を使用するのです。フッ化物の燃料と冷却もフッ化物の熔融塩を使うシステムであるこ

とから「F 3 R」と命名しました。この「R IN R」も「F 3 R」もそれぞれ特許を申請してあります。

トリウム熔融塩炉は、先ず20万KWの大きさに進む予定です。ローカルで使用する電力量としては丁度手ごろな量であり、当面はこのコンセプトで進む予定です。

生涯青春

最後に私の信条は「生涯青春」です。それには何より健康であること、社会貢献をすること、継続的な収入を語り、好きなことをやる。人との出会いは大切に、積極的に一歩を踏み出す。感謝——正直——勤勉——寛容です。勤勉

(写真: 内堀勝之)

講演録後記

講師の金子和夫さんにお会いしたのは昨年8月18日、東京杉並区にある蓮光寺でのインド独立運動の志士チャンドラ・ボース氏の命日の法要の帰り道でした。チャンドラ・ボース氏はインドではガンジー氏、ネルル氏に並ぶ歴史上有名な人物で、蓮光寺に遺骨が納められています。金子さんはその遺骨をインドに帰す運動に協力されています。

第二次世界大戦中にイギリスの植民地であったインドでは独立運動が盛んになり、ガンジー氏は無抵抗主義でしたが、チャンドラ・ボース氏は武力派とされ、日本軍とともにイギリスと戦いました。

当時、チャンドラ・ボース氏の面倒を見ていたのが会員の根岸素行氏のお父さんでした(詳細は本誌44号12頁、2013年に記載)。私は5、6年前から根岸素行氏に誘われてお参りしています。

お参りの打ち上げは、本場のカレーを堪能する



蓮光寺にあるチャンドラ・ボースの胸像

春の講演会の予告

の恒例で、その日、初めて金子さんにお目に掛かりました。そこで、金子さんが「脱原発」で本当に良いのですか? という本を発売していることを知り、2011.3.11の原発事故処理などの話を聞くうちに使用済核燃料の処理などにすごい技術があることがわかりました。根岸氏にこっそりと金子さんにクラブの講演会でお話をしてもらおうかと相談し、根岸氏も賛成したので金子さんにアルコールの力も借りて講演のお願いをしたところ快諾されました。

金子さんとは初対面ですが、当クラブの内容も詳しく説明しないのに講師を受け入れられたのは大変恐縮しています。金子さんの目指す事業が陽の目をみるのを祈っています。

(内堀勝之)

日時 平成27年3月25日(水)午後6時30分から

場所 長崎県民クラブ

講師 吉田 勝也氏 長崎東高卒

町名の謂れなどの研究家

演題 (仮題)長崎の町名の謂れ

今後、佐世保地区など各地区の歴史的な話に
つながれば面白い。

ひと

やまだ えみりさん（折り紙アーティスト）

（聞き手：平松 勲、内堀勝之）

平成26年11月22日（土）午後、
四谷の事務所で、五島市出身の折
り紙アーティストやまだえみりさ
んにお出でいただき「折り紙アー
ト」などの話を伺った。まず、「折
り紙アート」とは何かとお聞きす
る前に、オリジナル作品と写真を



『今年の干支の羊』

見せてもらった。月下美人の花、
玉の浦つばき、今年の干支の羊な
どであった。折り紙とバックの和
紙が立体的にデザインされてい
て、さらに額縁やフレームと組み
合わされた芸術作品でした。
この道に入って14～15年にな
り、巣鴨で、講習会を開催し、生
徒さんは100名位になつてい
る。作品のテーマを考えることで
創造力を養い、紙を折ることで指
を動かし、美しい和紙に触れたり
するので自然に右脳も左脳も鍛え
られる効果も考えられる。ある高
齢の会員の方の脳に欠陥が見られ
たが、症状が表に出ていないので
不思議だと医者が驚いていた。折
り紙のおかげかもしれない。
折り紙は日本の伝統的なアー

トであり、世界語になつていて
「origami」と称されている。台紙
に使われるのは和紙であるが、最
近、日本の和紙はユネスコの無形
文化遺産として登録されることと
なった。やまだえみりさんはかつ
て和紙を使った民芸品を取り扱う
仕事の経験があり、和紙の特徴を
生かすことができる。染めた紙を
使うことにより折り紙の芸術性が
増してくる。グラディエーション
の付いた色とか臘月夜の感じなど
の和紙を選ぶのも楽しそうだ。月
光に当たるすすきなど折りかたに
より陰影がつき、よりわびしさを
表現している。

URL <http://japaneseorigamiartist.com>
Email emilyamada@japaneseorigamiartist.com

本年、フランスジャパンEXP
Oへの出展も要請されたが、時間
の調整がつかずお断りした。平成
26年は、2月に故郷の五島市で「椿
と和紙Origami Artist Emilyの
世界」と題して24日間の個展を開
催した。五島が誇る玉の浦椿（赤
い花卉に白い縁取りがある幻の
椿）も展示した。また、4月には、
在京の「新上五島ふるさと会」で
展示販売会を開催した。
やまだえみりさんは創作（オリ
ジナル）を主体に活動している。
作品のほとんどに手描きの折り図
も添えている。また、作品の販売
はもとより、制作キットも販売し
ている。
今後も作品展を企画し、展開し
たいということなのでご活躍を期
待したい。（詳細はホームページ
をご覧ください。また、メールア
ドレスも左記に示します）



「月下美人」



「旧五輪教会と藪椿」
（五島久賀の風景）」



「玉の浦椿」



水とともに輝く



三輝工業株式会社
代表取締役 木戸紀雄

（長崎市出身）

URL <http://www.sanki-kogyo.com>

本社
〒103-0004

千葉工場
〒289-1107

佐倉工場
〒285-0812

東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03 (3667) 3041〔代〕 FAX03 (3667) 8268
E-mail: info@sanki-kogyo.com

千葉県八街市八街は 1-59
☎043 (443) 9711〔代〕 FAX043 (443) 9884
E-mail: chiba@sanki-kogyo.com

千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043 (481) 2101〔代〕 FAX043 (481) 2102
E-mail: sakura@sanki-kogyo.com

社 会 訪 問

株式会社ファウンテック

（東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル）

「夢・ロマン・満足度」の超優良企業 「心の経営」で社員にも残業ゼロ徹底



代表取締役社長
万谷 正 氏

のがなくて私が最終的に決めました」という。

フラックスのシェア70%でトップ

同社の前身は昭和39年に日本の鉄鋼用保温剤メーカー「アイコー」とアメリカのロスボロー社との合併会社「アイコーロスボロー」社。

日本側が株の51%を保有し、関連会社7社を傘下に持っていた。万谷さんは昭和46年に大学卒同期32人と一緒に入社。そのうち万谷氏を含め3人が関連会社の1社に配属となる。

その社長が長崎の五島出身であつたのも何かの縁かという。ところが平成2年には合併会社解消となる。その後、関連会社も万谷さんの勤めていた会社を除き赤字続きで、平成11年にその関連会社の株を万谷氏が100%買い取り、名実ともにオーナー（社長）に。

当初は親会社のアイコーから原料を買っていたが、現在では自社で製造販売を手掛ける。社員も当初の28人から現在は役員を含めて50人に拡大。工場は栃木工場（鹿沼市）と奈良工場（御所市）を構え、栃木は目下拡張中で、平成27年11月に完成を目指す。完成すれば月

間生産量は350ト（現在300ト強）になる。奈良工場と合わせると同社の生産量は月間700ト。国内のフラックス需要は約1000トでトップの地位は揺るがない。

「多柱経営」と「深耕経営」を实践

両工場とも人員は12人体制で、機械化による省力化を進めている。年齢も35〜36歳と若い人が中心。社業としてはフラックス以外の分野にも力を入れている。例えばアルミ溶湯にフラックスを供給する供給機。これは早くから実用化し現場環境の改善に大きく寄与。さらにアルミ溶湯中にどのくらいの水素ガスが混入しているか数値を測定する測定器など周辺機器の開発で成果を挙げる。

輸出にも注力し、タイ中心にASEANに進出している日系企業向けに実績を持つ。輸出比率は全体の5%だが平成27年には10〜15%を目指す。中国進出は「ノウハウ漏れ」懸念が強く棚上げの状態とか。

「心の経営」で年3回ボーナス

同社では万谷社長の指示によ



フラックスフィーダー



アルフェイス

り社員の残業ゼロを平成13年から実践中。「午後5時になると社員は一斉に帰宅し5時半には誰もいなくなりません。工場の勤務体制も同じです」。その狙いは何か。「会社の仕事は時間内に目いっぱいやり、それ以降は自分の時間を有効に使うこと。その分家族と一緒に過ごす時間を増やせば家族のつながりも強くなり、会社での仕事の能率も却って上がります」という。

「肉体的・精神的疲労を防ぐ効果は大きい」。万谷社長が標榜する「心の経営」の現れでもある。

また年3回のボーナスも定期化している。3月の決算ボーナスは「1回20万円をめどにし、場合によっては25万円に増額することもある」とのこと。実質無借金経営の強みを社員に還元しているわけだ。

万谷社長は経営方針として「夢・ロマン・満足度」を挙げる。そして「多柱経営」と「深耕経営」も。一つの分野で深く掘り下げて「柱

になる製品を育てる」ということ。満足度はお客様本位を前面にすると同時に社員にも満足気分で働いてもらうということでもある。フラックス専門メーカーとしてユーザーとの対面販売によるプレゼンテーション提供も欠かせない。今日注文受けると翌日の納入の即納体制をとるのも強み。

壱岐への社員研修も継続

同社では社員研修の一環として万谷社長の出身地である長崎県壱岐に全社員参加、費用は会社持ちで旅行。昨年で4年連続実施、社員はもちろん地元にも喜ばれている。「今後も毎年続けます」と万谷社長は明言する。

社員に対する注文は「全てが当たり前になつていたので常に向上心を持ち挑戦してもらいたい」とあくまで挑戦と向上の精神を忘れない。

（聞き手…牧山康敏）

東京沓岐雪州会総会 220人出席し盛大に開催 新会長に万谷氏

東京沓岐雪州会の平成26年度
定時総会及び懇親会は10月26日、
東京芝の東京プリンスホテルで
220人が出席し盛大に開かれま
した。沓岐市から白川博一市長ら
25人を含め来賓として長崎県各地
区代表や長崎県人クラブからも多
数出席。

総会では牧山康敏会長が4年の
任期満了に伴い会長を退任し、新
会長に万谷正副幹事長が就任しま
した。牧山会長は退任に当たり「会
員の皆さんを始め、ふるさと沓岐
市や県下各地域の方々のご協力に
感謝する」と謝辞を述べ、今後と
も雪州会へのご協力をお願いしま
した。

恒例の福引抽選会では沓岐など から寄贈された多くのふるさと特 産品に一喜一憂するなど会場の雰 囲気も一段と華やいだこととし た。(東京沓岐雪州会 牧山康敏)

東京沓岐雪州会は1917年(大
正6年)に設立され、2015年
で98周年目に入ります。2年後に
は記念すべき100周年、1世紀
を迎えることになります。沓岐出
身者の関東地区における親睦団体
として会員の交流・ふるさと沓岐
市の発展を目標に種々活動してい
ます。

昨年の26年度総会では新会長以
下、新役員を紹介したほか昨年春
に関東地区の大学に入学した沓岐
出身の若者6人も壇上で紹介、会
場全体に新鮮な感じを与えた。雪
州会も各地区のふるさと会と同じ
く今後、若い会員を如何に増やす
かが課題です。



新役員を紹介する牧山会長

長崎北高在京同窓会



長崎北高は今年50周年を迎えました。
今回は平成26年11月2日学士会館で行われ、来賓及び同窓生
120名の参加がありました。

同窓会は来賓の紹介と挨拶から始まりました。そのあとのイ
ベントでは長崎で行われたウィーンフィルハーモニーOBB8人
によるコンサートの映像を放映いたしました。これは北高50周
年記念コンサートとともに、10月13日長崎ブリックホールにて
行われました。

また長崎では、ウィーンフィルメンバークラリネット奏者
が長崎くんちにて西浜町が出した龍船の上で、自身の作曲した
曲を演奏し長崎の人々の喝采をうけました。その映像も放映さ
れました。その間懇親会は続き、同窓会は、楽しい内に終了い
たしました。

(弓削義朗)

◆◆◆ イベント予告 ◆◆◆

開催名	代表者	日時	場所	連絡先(電話)
長崎さるく		通年	長崎市内一円	長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるく受付 TEL.095-811-0369
2015 長崎ランタンフェスティバル		27.2.19(木)～3.5(木)	長崎市・湊公園ほか会場	長崎ランタンフェスティバル実行委員会事務局 長崎市観光推進課 TEL.095-829-1314
全日本綱引選手権大会		27.3.8(日)AM9:00	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅 下車 徒歩15分)＝沓岐玄海酒造綱引チームが長崎県代表で21回連続出場	
2015長崎帆船まつり		27.4.25(土)～ 4.29(水) 昭和の日	長崎港	長崎帆船まつり実行委員会事務局 長崎市観光推進課 TEL.095-829-1314
はたあげ大会 (長崎ビードロ会)		27.4.29(水) 昭和の日、 雨天の場合は5.17(日)	多摩川緑地区民広場(最寄駅 京浜急行 六郷土手駅下車 徒歩10分)	
佐世保工業高校関東支部同窓会	萩尾正雄	27.6.13(土)	第一イン池袋	谷本金二 TEL.090-7769-4958
猶興館東京同窓会総会・ 懇親会	大石郁夫	27.5.30(土) 12:00～15:30	第一ホテル東京	大石郁夫 TEL.03-3586-5211
平戸高校東京・首都圏同窓会	森和十郎	27.6.6(土)	日本出版クラブ会館	小檜山長代 TEL.045-512-8919
佐世保南高校東京同窓会・ 第25回東京柏葉会総会・懇親会	浦松敏和	27.7.5(日)	椿山荘	事務局(金氏) TEL.03-3365-4110
長崎南高関東同窓会		未定	未定	事務局 前田幸司 TEL.042-333-7838

この道にたえなる灯を — 鎮西学院第18代院長 千葉胤雄の生涯

編著・鎮西学院千葉胤雄伝刊行委員会
発行・鎮西学院 発行協力・長崎新聞社
定価 1500円＋税



が吐露された被爆時の日記および、翌年8月9日の日記の復刻は、「長崎原爆70周年」を迎えるこの時期にふさわしい内容と言える。

鎮西学院は2016年に創立135周年を迎える。その節目を記念した出版。企画にあたって「第18代院長・千葉胤雄」に焦点を当てた。動機は、彼が2013年に生誕115周年を迎えたこと。

また戦前、竹の久保にあった鎮西学院中学が長崎原爆でほぼ全壊。当時、教頭だった千葉は自ら被爆しながらも被災者救援に力を尽くした。さらに戦後、いくつもの障害を乗り越え、諫早の地に学院再建を成したことが挙げられる。

特に、原子病で召天した彼の晩年を描いたくんだり、また原爆で妻を失った悲しみと原爆への怒り

千葉家は、大村藩士の家系で、父・常三郎は教師であり在野の植物学者として知られていた。その父の勧めで胤雄は長崎・東山手にあった鎮西学院中学部に学び、卒業と同時に米國留學。オハイオ・ウエスレヤン大学に入学し、さらにギャレット聖書学院でも学んだ。

学院再建で千葉は、戦後3年目に院長となり、支援を仰いだ米國メソジスト諸協会の意見や、留學体験で学んだ教育の在り方などをまとめた「働きながら学ぶ」という新しい教育方法を取り入れて実践。諫早・中井原で再建の道筋を確かなものにした。

本書は、鎮西学院の現況と設立時の状況に触れて「なぜ千葉胤雄なのか」と問い掛けた序章から

それぞれの想いをのせて今 はばたく高校生平和大使

著者・長崎新聞取材チーム
監修・「はばたく高校生平和大使」刊行委員会
発行・長崎新聞社 定価 1500円＋税



を国連に届け、平和を求める意思を長崎から全国、世界に広げる使者として毎年、全国規模で選考・派遣されている。

2014年8月20日付長崎新聞の一面トップに、女子高校生のさわやかな笑顔の大判写真と併せて「被爆三世として強い責任感 核廃絶へ共同行動を」ジュネーブ軍縮会議で初 平和大使 小柳さんスピーチの見出しが躍った。高校生平和大使派遣運動の力強い前進と大きな広がり示す出来事だった。

高校生平和大使の取り組みは、1998年のインド・パキスタン核実験に抗議して国連に派遣したのが始まり。以後、長崎の高校生たちが核兵器廃絶を求めて始めた高校生一万人署名活動の成果

本書は、2007年6月発行の「ベリヨクだけどもリヨクじゃない! 高校生平和大使」の続編。平和大使派遣活動が長崎から全国へ、世界へ大きな前進を見せたこと。さらに2011年3月11日の東日本大震災と福島原発事故、その被災地から困難を乗り越えて平和大使が生まれたことから新たな発行を企画。高校生たちの活動が多彩なエピソードをまじえてドラマチックに紹介されている。

「東日本大震災 全土がパニック」から書き起こされる。大震災という最悪の状況の中、平和大使の募集を一時ストップさせ、高校生一万人署名活動も被災地支援の募金活動に特化させた。しかし、地震・津波に加えて原発事故である。重苦しい空気が列島を包む。そこで「自粛より高校生

ら始まり、生い立ちや米國留學、長崎原爆日記さらに学院復興、千葉白木、そして復興後の学院の歩み(第6章)、学院の未来を綴った終章と続く全235ページを、鎮西学院高校や長崎ウエスレヤン大学の教員らが執筆している。

「はじめに」で林田秀彦院長は、学院復興の原点となった「千葉プラン」に学び「鎮西学院の新たな時代への出発点を探る」という学院にとつての刊行目的と併せ、「千葉という一介の牧師が原子病に喘ぎながら身を捨てて戦後復興に立ち向かった姿を読み取っていただきたい」と一般読者への広がり期待を寄せる。本書に綴られた千葉胤雄の生涯は、深い家族愛と信仰心、教育への強い責任感、原爆の悲惨さと平和の尊さに彩られており、広く共感を呼びそつ。

年譜に加え、遺族による「父を語る」と、教え子らによる「教師として牧師として」の項の寄稿文が彼の人物を知るよすがとなっている。資料編のルーツを語る一文も興味をそそる。

(長崎新聞社出版部 阿部成人)

らしい活動をと、平和大使が築いてきた国連とのパイプに着目。世界に支援を呼び掛ける先頭に立とうと、震災被災地から平和大使を選出した。2014年の高校生平和大使は福島、岩手を含む各県から21人。うち20人が、この年の署名13万1743人分を携えてジュネーブの国連欧州本部を訪れた。

ジュネーブ軍縮会議の傍聴と、軍縮局長へのあいさつは恒例となっており、各国大使らの間で高校生平和大使はよく知られた存在。小柳さん(当時高校2年)の「私は今、被爆三世であることに強い責任感を感じている。69年前、広島と長崎で起きた出来事を決して風化させてはならない」とした異例の演説が実現した。

被爆から丸70年。原爆の悲惨さを語る被爆者がいよいよ消えていく。核兵器廃絶、平和な世界を―との願いを被災地から世界に向けて発信する若い彼らの活動は、被爆者はもちろん平和を願う国民の希望の存在とも映る。

(長崎新聞社出版部 阿部成人)

超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

代表取締役 本田武利 (諫早市高来町出身)

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4
電話: 03-3814-2291(代)
FAX: 03-3814-2197

- * 超音波洗浄器製造一筋40年。
- * 医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
- * 硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
- * 全80機種の標準製品を在庫。

光のまち、長崎へ ～長崎ランタンフェスティバル PR 展～

長崎の冬のイベントである「2015長崎ランタンフェスティバル」の紹介が東京都庁45階の展望室で開催されました。ランタンフェスティバルの様、長崎市の風景写真、龍踊りの龍やポスターが展示されていました。場所がら、観光客がひきも切れない。

「2015長崎ランタンフェスティバル」は平成27年2月19日(木)～3月5日(木)までの15日間、長崎市内で開催されます。

約1万5千個の中国ランタン(提灯)などで長崎の夜は彩られます。

(内堀勝之)



HOT
NEWS

壱岐消防団優勝

壱岐消防団芦辺地区第1分団 段違いの実力でポンプ車日本一

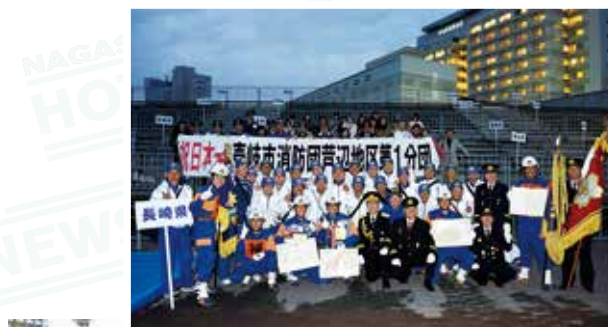
「段違いの実力で優勝」—平成26年11月8日、東京・江東区の臨海広域防災公園で行われた第24回全国消防操法大会で壱岐市消防団芦辺地区第一分団はポンプ車部門で見事優勝、日本一に輝きました。同分団は昭和57年にもポンプ車で全国優勝しており2回目の全国制覇。

また平成24年に石田地区山崎分団が小型ポンプ部門で優勝したのに次いで壱岐市消防団は2年連続(本大会は2年に1回開催)全国優勝を果たしたことになる。壱岐消防団の実力を日本中に強く印象づける結果となりました。

個人成績でも最優秀選手に1番員の村田博城、3番員の中村天洋の両選手が選ばれた。壱岐チームの総合得点は184.5点。2位の神奈川県座間市消防団に9点の「歴史的な大差」をつけ参加24チームの頂点に立ち、総合力の高さを見せつけました。

地震・台風など自然災害が日本列島を襲うなか、国民の生命や財産を守る使命を担う消防団の役割は一段と高まっています。そうした中での長崎県代表の壱岐市消防団の活躍は壱岐市の誇りであり、ひいては県民にとっても大きな励みとなるでしょう。

会場の東京臨海広域防災公園には、霧雨模様の肌寒い中、早朝から白川博一壱岐市長や壱岐消防関係者20数人、選手の家族16人(うち子供9人)ら約40人が応援。東京壱岐雪州会からも山内賢明名誉会長、万谷正会長ら10人が応援。9時からの入場式では壱岐市消防団の割石賢明団長が全国の総括指揮者に選ばれ全選手団の先頭で入場。



ポンプ車部門の競技で壱岐チームは最初のスタートから放水、仕上げまで見事な連係プレーを披露。競技を見守る消防応援関係者も「完璧な出来だ」「これなら大丈夫」と自信を見せる。

競技を終えた指揮者・班長の播磨三吉選手は「平常の練習通りの力を出せた」と平常心を強調。白川市長は「この優勝で壱岐の名を全国に広められる。競技結果は災害有事の際にも大いに役立つ」と語り、選手の活躍を称賛。

長崎県で常勝の壱岐市消防団の実力が今回も全国大会で証明されたと言えます。(東京壱岐雪州会:牧山康敏)

トピックス

長崎産直うまか市

平成26年11月8日(土)、長崎よかもんショップ・四谷では、今年度2回目となる「長崎産直うまか市」を開催いたしました。当日は時折小雨が降る中、前回は旬の長崎みかんをはじめ、五島手延うどん、壱岐焼酎、緑茶、蒲鉾、醤油、野菜等を販売いたしました。午後からは、お楽しみ抽選会も実施し、中にはこの抽選会を心待ちにされているとおっしゃったお子様もおられ、こちらも嬉しくなる場面もありました。

また、建物の耐震工事等のため一時休業しておりました出島厨房は、名称を「慶応三年うどんの隠れ岩松」と改め、リニューアルオープンしておりますので引き続きご来店いただきますようお願いいたします。

なお、建物の工事は今年2月迄の予定ですが、工事終了後には再度うまか市を開催する予定です。工事期間中は皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後も引き続き長崎よかもんショップ・四谷をよろしく願っています。

(長崎県観光物産センター 主事 今里彰吾)



カステラの切れ端をもってレジに並ぶお客様

アイランドー2014



全国の島々が集まる祭典アイランドー2014が平成26年11月22日(土)・23日(日)、池袋サンシャインシティで開催されました。長崎からは対馬島地域(6島)・壱岐島地域(5島)・五島列島地域(18島)・西彼諸島地域(5島)・平戸諸島地域(17島)などの島々の観光の展示や特産物の即売会で賑やかでした。ゆるきやらの「つしにゃん」(対馬)、「ちかまるくん」(小値賀)もPRに懸命でした。

(内堀勝之)

ゆるきやら紹介

つしにゃん

モチーフ：ツシマヤマネコ
性別：男の子
対馬あっぱ隊リーダー。
※「あっぱ」は方言で「遊ぶ」。
対馬の自然や歴史にくわしく、しゃべりだしたら止まらないほどの対馬オタク！
弟の「ちかまるくん」と一緒に対馬のPR、ツシマヤマネコ保護活動に奮闘中。

ちかまるくん

「おぢか」の「ちか」をとって「ちかまるくん」ツチカ〜。
誕生日：9月27日、ツチカ〜♪
イメージ：小値賀町の町獣で、野崎島に棲んでいる「九州鹿」をイメージしてるツチカ！
皆さんと「小値賀町」の関係が「近まる」ようにがんばっちゃうので応援よろしく、ツチカ〜。



第42回長崎東高在京同窓会総会報告

平成26年10月18日(土)15時30分から昨年と同じ九段下のホテルグランドパレスにおいて第42回長崎東高在京同窓会総会を開催しました。当日は長崎国体開催中のふるさと長崎から米倉校長先生以下のご来賓他、250名の同窓生を集めて盛大に行われました。

今総会も東高11回生OBによる「吟舞」、在京同窓生で結成して10年になる東風アンサンブルによる「コーラス」、東高OBタレントの竹本孝之さん、長崎出身で「東龍クラブ」メンバーの歌手・上奥ま

いこさんによる「ミニライブ」と東龍クラブによる本命「龍踊り」と時間が足りないほど盛りだくさんのイベントが会を盛り上げました。また同窓生の皆さんから昔の高校時代の写真や8ミリの提供していただき、「東高アーカイブス」として編集し、そのビデオ映像を会場に流しました。これで参加者は一気にな高校時代へタイムスリップしました。その上、当日の様子は「Ustream」で日本、世界へ向けてライブ発信も行いました。また今回は幹事の熱心な勧誘の結

果、20代、30代の若い回生も多く参加し、とても華やいだ総会になりました。

(長崎東高在京同窓会会長 北澤道也)



北澤道也

2014年度松浦高校同窓会 関東支部総会のご報告

昨年に続き、料理のおいしさに定評のある東京都港区虎ノ門にある「レストラン立山」にて、総会と懇親会を開催しました。母校から参加の教頭先生から、長崎国体で優勝したなぎなたチームの活躍の紹介をうけたあと、当日は、全国高校駅伝大会北部九州大会の開催日であり、県予選一位以外の高校でトップなら、2年ぶりの都大路を走ることができるという状況の中で総会を開催しました。残念ながら、駅伝は、2位で全国大会を逃しましたが、同窓会と教員の

皆さん、現役生徒の心が一つになったような気がしました。総会参加者は、昨年を下回りましたが、初めての参加者、数年ぶりの参加者も散見され、新しく同窓会の運営に参加いただく同窓生も増えました。また、今年から、Facebookなどを利用した総会案内など新しい試みを取り入れたましたが、引き続き、若手の参加者を増やす努力をしていきたいと考えています。(会長 吉元利行)

佐世保南高等学校東京同窓会 東京柏葉会 第24回同窓会開催

平成26年7月5日(土)第24回東京柏葉会総会及び懇親会が、今年もホテル椿山荘東京にて開催されました。当日はあいにくの雨模様ではありましたが、参加者総数277名と昨年に続き多くの方に参加頂きました。今年も現役大学生の参加を母校の協力を得て呼び掛けた処、5名の大学生の参加があり、大いに盛り上がりました。

まず、始めに総会が開催され、会長挨拶並びに昨年度から創設された「東京柏葉会賞」の状況、賞の授与式につき説明・報告がありま

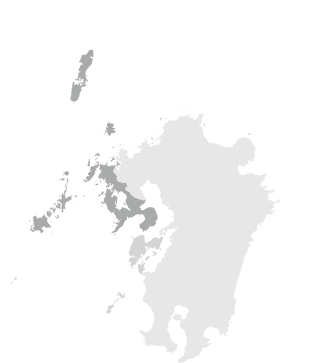
した。その後、幹事長の会務報告に続き、会計担当より会計報告、会計監査報告が行われ、総会は無事終了しました。

今年の講演会は「天気予報の今と昔、そして将来。南極基地での越冬体験から」と題して、13回卒業の気象予報士会会長の酒井さんに天気予報の今昔、天気予報の始まり、天気予報が出来るまで等、天気に関する様々なお話、特に昨今の異常気象と防災への備えから生活に役に立つ情報等、とても興味深いお話を頂きました。

懇親会は担当幹事の14回生、24回生、34回生が中心となって会を進めて行きました。柏葉会本部の内海会長、母校の宮内校長の挨拶の後、県人クラブ藤島常務理事他来賓の皆様のご紹介があり、懇親会はスタートしました。今年も昨年に続き、着席配膳方式にて、又メニューも昨年とは改善されて好評でした。これも昨年からの実施している「恩師からのビデオレター」ではお世話になった先生の今、また故郷の風景が懐かしく映し出され、同窓生との会話が弾みました。今年のハイライトの現役大学生が壇上で自己紹介、それぞれの一言に頼もしさを感じたものでした。

1年振りの再会を楽しんだ同窓会もあつと云う間に時間が経ち、最後に副会長の閉会の挨拶をもつて、第24回東京柏葉会は無事お開きとなりました。

(東京柏葉会会長 浦松敏和)



トピックス

第18回東京北星会総会・懇親会 新入会員歓迎会開催

第18回東京北星会総会は平成26年6月21日に新宿のハイアットリージェンシー東京で懇親会、新入会員歓迎会を兼ねて開催されました。梅雨のシーズンではありませんでしたが合計330名が参加しました。学生は42名、うち今春卒業の学生が22名も参加しました。

先輩会員の大きな拍手で迎えられ、故郷を離れたばかりの若い世代が堂々としたスピーチを披露しました。当日会場に集まった会員

も校歌斉唱が終わる頃には懐かしい雰囲気包まれ、会場は次第に一体感に包まれていきました。今回は多くの方面から26名の恩師・来賓にご参加いただきました。母校の校長先生・恩師の先生方やとても懐かしい恩師7名の先生方には、今回は初めての試みとして

ご来賓席ではなく各々の卒業生のテーブルに着席いただきました。各席とも懐かしい話などで、盛り上がり、皆さん楽しまれています。



校長先生・恩師の方々と学生会員

した。平成27年は新人歓迎会の年で、平成27年5月23日土曜日の予定です。（事務局長 堀口清澄）

長崎工業高校関東支部同窓会総会

平成26年11月8日、第35回長工関東支部同窓会が開催されました。今年は造船科と機械科が担当幹事科を務め、会場は笹川記念会館で開催されました。

本部からは山田親会長、関西支部から平松繁事務局長、母校から三好展弘校長をはじめ、多数のご来賓・同窓生の参加を得て、94名が集い、総会・懇親会と有志参加の二次会と、楽しいひと時を過ごしました。

懇親会に移り、母校・三好展弘校長からは在校生の活躍が紹介され、関西支部平松繁事務局長からは、関西支部共々、会の成功と、更なる飛躍に向け共に邁進する意

気込みを感じるご挨拶を戴きました。年一度この総会に集い、美味しいお酒を酌み交わしながら語り合い普段の生活から少しだけ離れた和やかな空間がそこにありました。

来年の担当科である建築科・インテリア科を代表して、河原勝一副会長、山口事務局長から元氣あふれる手締めと、閉会の挨拶があり、今年以上に盛り上げていく

ことへの期待と、お願いを以てお開きとなりました。最後に皆様と又、来年この会でお会い出来ることを楽しみにして居ります。

（長崎工業高校関東支部同窓会 広報 近藤政則）



東京・平戸北松会総会開催

平成26年10月4日に開催された恒例の「東京・平戸北松会」総会に昨年に引き続き出席させていただきました。出席者の中には昨年お会いした方、初めてお会いする方など、多くの会員の皆様と楽しいひと時を過ごすことができたことに有難うございました。

懇親会では、日本体育大学相撲部員による応援パフォーマンス「エッサツサ」の披露、出席者の歌や踊りに賑わいと笑いに包まれ大変な盛り上がりでした。

今年度の「ふるさと納税」が多くの皆様のご協力により4億円を超えたことへのお礼と、引き続きのご支援をお願いいたしました（11月中旬で6億円を超えました）。

12日からは「長崎がんばらんば国体」が開催され、平戸市は相撲競技と軟式野球競技の開催地となっており、機会を見つけて観戦していただくようにお願いしました。

平戸市川内生まれのアジアの英雄「鄭成功」の石像が平戸市と友好協定を締結している中国南安市から寄贈され、9月に千里ヶ浜鄭成功記念公園内に建立したことなどを報告させていただきました。

（平戸市副市長 寺田勝嘉）

31年目の 大高東京同窓会



明けましておめでとうござい
す。

創設31年目の大高東京同窓会
は、22回卒の朝野芳郎が新しい会
長に就任し、役員の世代交代も進
め、活動の活性化と充実を図る意
気込みです。

東京対馬高等学校同窓会定期総会・ 懇親会開催

東京対馬高等学校同窓会(会長
高松繁治)は、平成26年10月19
日(日)、東京駅八重洲北口近くの
『カスピタ東京』で、平成26年度定
期総会及び懇親会を開催した。参
加者は、来賓2名を含め約50名。
総会は、早田和男幹事長(45年
卒)の司会で進められ、先ずこの
1年間の逝去者に黙祷を捧げたの
ち、高松会長(31年卒)が挨拶し、
『母校は来年110周年を迎える
由、誠にめでたい。東京の同窓会
を充実させることを通じて、エー
ルを送りたい』と述べた。次いで

議事に入り、役員改選、活動報告、
会計報告、監査報告を承認し、母
校へのクラブ活動助成金を授与し
た。新役員は高松会長留任、監事
2名、顧問4名、副会長3名、幹
事長1名、副幹事長2名、幹事12
名の体制で運営することが決まっ
た。

来賓挨拶では、本田道明校長
から、クラブ活動助成金へのお礼
と現在の高校活動、特に国際文化
交流学科の活躍状況が紹介され
た。また浦田一朗対馬高校同窓会
会長からは、対馬の人口動態の予

さて、平成26年10月18日にアル
カディア市ヶ谷で開催した総会・
懇親会は、大村からの来賓の他、
長崎県人クラブ、長崎県下高校在
京同窓会の方々を迎え、今年
は大村高校創設130周年を記念
すべき会として、盛会のうちに終
了することができました。

今年の総会・懇親会では、久ぶ
りに110名を超えましたが、例
年になく1回から8回卒までの各
期の大先輩及び38回卒以降の若い
世代の参加が目立ちました。会
では、同級生はもとより、その枠を
超えて先輩後輩間での和やかな交
流で、一層の絆を深めることがで
きました。

特に若い世代の増加が目立つた
のは、同窓会へ若い世代を取り
込むことを目的とした「わっかと
会(若い世代の役員を中心として
いますが、自称わっかと思う人は
だれでも参加できる会)」の地道
な活動があつたからと思っていま
す。

東京同窓会は、これからも、同
窓生の絆を大切にする活動をして
いきたいと思しますので、皆様の
ご支援とご協力をよろしく願ひ
致します。なお、今回参加できな
かった方へ送付した「速報」を紹
介します。

(大村高校東京同窓会
事務局長 笹原勇三)

平成26年度長崎県人会総会

12月8日(月)、アルカディア
市ヶ谷(私学会館)において、平
成26年度長崎県人会総会が開催さ
れ、300名を超える参加者の皆
様がふるさと長崎県の話で交流
を深めました。

今回の総会では、平成4年から
22年間にわたり会長を務められた
三菱重工業(株)相談役の相川賢
太郎会長が退任され、玄海酒造(株)
取締役会長の山内賢明氏が新たな
会長として推戴されました。

また、来賓挨拶では中村法道長
崎県知事から、10月から11月にか

けて開催された「長崎がんばらん
ば国体」及び「長崎がんばらんば
大会」での成果とお礼、人口減少
問題に関する状況と今後の取り組
み、世界遺産候補である「明治日
本の産業革命遺産 九州・山口と
関連地域」と「長崎の教会群とキ
リスト教関連遺産」の登録に向け
た進捗状況、平成34年開業見込み
である「九州新幹線西九州ルート」
の開業に向けた取り組みなどにつ
いての報告がありました。

懇親会では、対馬市出身の歌手
対馬一誠さんと大村市出身の歌手
タナカハルナさんによる歌が披露
され、大いに盛り上がりました。

(長崎県東京事務所 福島浩史)

測の状況紹介及び来年の対馬高校
110周年記念行事に向け募金活
動への協力要請がなされた。

懇親会は、森美穂子幹事(40年
卒)の司会で、歌野宏東京対馬会
会長(33年卒)の乾杯の発声で始ま
り、和やかで賑やかな会合となっ
た。話題は、在校生時代の思い出
最近の帰郷者の印象、今後の対馬
のありよう(経済・観光・人口)各
自の出身地の紹介(会場に対馬の
地図が貼ってあり、町村毎に各自
記名)などで出席者の出身分布が
わかるように工夫があった。時事
関連は、やはり日韓交流がメイン
テーマである。

最後は、糸瀬敬一幹事(48年卒)



トピックス

第63回東京海星会総会・懇親会が盛会裡に終了

平成26年10月25日、午後5時30分から港区三田の笹川記念会館で「第63回東京海星会総会・懇親会」が開催されました。海星学園の山崎理事長、清水学校長、海星学園同窓会の伊集院会長も長崎から駆けつけ、約100名の参加者を得て行われました。

東京海星会の平成25年度の活動報告、収支報告の承認、平成26年度の活動計画、予算の承認が行われ、満場意義なく承認後、懇親会に移りました。懇親会は、長崎工業高校、長崎商業高校の在京同窓会、暁星学園同窓会のそれぞれの

役員はじめ長崎市東京事務所の事業本部長ほか11名の紹介がなされ、来賓を代表して山崎理事長が挨拶を行い、その中で125年を迎える海星学園の記念事業への協力の呼びかけがなされました。

乾杯の音頭は清水学校長が務めた。海星学園の近況報告の後、がんばらば国体での海星の生徒の活躍の模様や、海星の卒業生で駒大の野球部で活躍し、ドラフト会議で阪神から3位指名を受けた江越大賀選手の活躍の模様等が大型スクリーンで披露されたほか、海星学園にちなんだクイズ大会や抽

選会で大いに盛り上がり午後8時に終了しました。

(東京海星会 幹事長 江頭康伸)



長崎西高在京同窓会の報告



長崎西高在京同窓会は平成26年10月25日、ランドアーク半蔵門において第41回総会、懇親会を開催しました。前年は台風で開催自体も危ぶまれましたが、お蔭さまで今回は晴天に恵まれ、長崎からは田川校長恩師として前年台風のために参加を見送られた久布白先生を改めてお迎えしました。また長崎、福岡、関西、東海の各地区同窓会、さらに長崎県人クラブをはじめ各団体、県内高校在京の同窓会からもたくさんの来賓をお迎

えすることができました。

総会後の懇親会では長寿のお祝い、卒業アルバムスライドショー、抽選会、校歌斉唱、そして最後の万歳三唱まで、大先輩の2回生から卒業したての66回生までの幅広い年齢層の250名が、恒例となった全員着席で会場を埋め尽くしました。盛会に終えることができましたのも、皆様のおかげと感謝しております。

(長崎西高在京同窓会副会長

澤村 徹)

第16回在京長崎県下高校同窓会代表者の集い

第16回在京長崎県下高校同窓会代表者の集いが平成26年11月21日、三田の笹川記念会館で開催されました。出席は長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎工、長崎商、佐世保南、佐世保北、佐世保工、島原高、島原南、有馬商、島原翔南、諫早商、大村高、五島高、猶興館高、松浦高、平戸高、対馬高、杵岐高、上対馬高、海星高、西海学園、長崎南山、青雲、聖和女子学院、25校の在京同窓会の代表者および当クラブ理事で84名でした。各テーブルで情報交換の輪が見られました。

(内堀勝之)



納涼親睦会開催



長崎県人クラブは平成26年7月24日(木)、浜松町東京会館で納涼親睦会を開催しました。地上150mの大パノラマの会場にて80名の方が集まり、交流を深めました。ゲストは五島出身の歌手のうらくみこさんで会員と写真を取り合うなど楽しい時間を過ごしました。

(内堀勝之)

ESSAY

対馬を離れて五十余年

理事 柚原 治美

私は、長崎県下県郡佐須村下原出身（現在は町村合併により、対馬市厳原町下原）、昭和14年11月生まれ、平成26年11月に75歳を迎え、いわゆる後期高齢者と呼ばれる年齢になった。10人兄弟の5番目で、大家族の中に生まれ育った。何とか対馬高校に進学することが出来たが、通学が大変だったのが印象に残っている。佐須から高等学校が在る厳原までバス通学で、バスが急な坂を今にもエンストを起しそうなスピードで登り、上見坂峠まで来ると、今度は一転、カーブの多い急坂の下りになる。約1時間かかって高校の正門前に着く。帰りはバスの出発時間まで、厳原の町中をぶらついたりと、本屋で立ち読みをしたりして時間をつぶし、夕方のバスで帰宅するといった高校生活でした。

高校を卒業する昭和33年は不況で就職先が見つからず悩みました。東京で伯父が建築設計事務所を経営していることを知っていたので、助手として使ってもらえないか手紙を出したところ、返事は「大学を出なければだめだ」と言われ困りました。いろいろ考えた末、日本大学理工学部の夜間部

の建築学科を受験することを決心し、東京へ行くための旅費を稼ぐため、営林署の植林事業に雇ってもらい、3月の中頃東京に向かつて出発しました。

厳原港を8時に出て8時間かけて博多港に着き、博多駅から急行列車に乗り、22時間かかって東京につきました。蒸気機関車だったため東京に着いた時にはワイシヤツの襟が黒くなっていました。

初めての東京で、変なおいのする町で、何だろうと思いました。ずっと後になってわかったのですが、調理などの油の匂いでした。対馬と東京の違いが空気にもあることに驚きました。

3月末に大学の合格発表があり、合格通知が来たと実家からの連絡で飛び上がって喜びました。伯父の建築設計事務所は、千葉県の津田沼にあり住居併用の仕事場でした。そこに居候することになりました。居候しているうちに伯父さんの事務所で働いていた対馬

高等学校の先輩から「建設省建築研究所に同僚がいるので行ってみないか」との話があり、建築研究所を訪れることになりました。建築研究所は新宿区百人町にあ

り、第二研究部のコンクリート研究室の依田研究員を紹介され、面接を受けました。その結果、依田研究室で非常勤職員として勤めさせてもらうことになりました。昼間は研究助手として働き、夜は日本大学理工学部建築学科で学ぶことが出来るようになり、終業時間も便宜を図って頂き、勉学に支障がないように配慮していただくなど大変親切にしてくださいました。そのような環境に巡り合っ

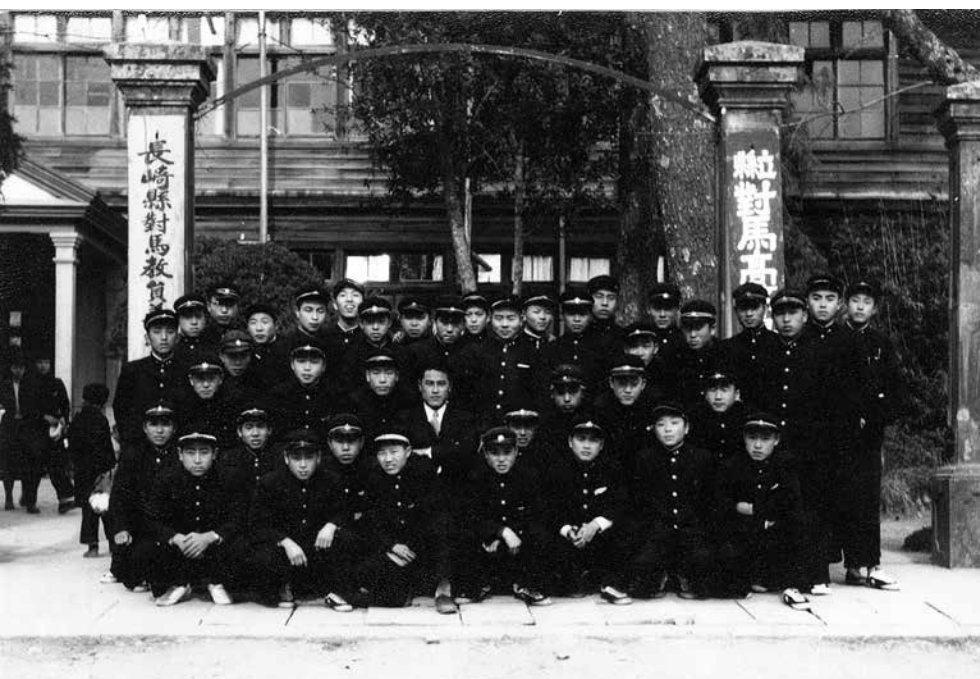
て、私は建築技術者の第一歩を踏み出すことが出来たのです。研究補助員として働いているうちに、補助員の定員化法が制定され、私は国家公務員になることが出来ました。大変ラッキーでした。これにより身分が安定し、東京での生活基盤を確保できたと思っています。昭和33年から昭和41年まで8年間、セメントコンクリートの研究に従事したのですが、昭和41年4月住友金属鉱山に転職することになりました。

住友金属鉱山は、当時主力の非鉄金属事業が、国内鉱山の閉山により、事業の縮小を余儀なくされ、余剰人員を吸収するための新規事業の開発を急いでいたようです。新規事業の一つとして、新しい建材の実用化に成功し、私たちの研究所で性能試験などを実施し、製造・販売の体制作りを急いでいました。その製品販売の推進のため

に請われて、私は住友金属鉱山に就職することになりました。平成12年まで35年間勤め、無事60歳の定年を迎えることができました。会社定年後は、ふるさと会のほか、いろいろな親睦団体の会員になったり、幹事を務めたり結構忙しい日々を過ごしています。

趣味として、夏山登山を長年続けていましたが、今年の夏に登った、北アルプス表銀座縦走を最後に高山登山の卒業を決心しました。今後は低山のハイキング程度で楽しみながら体力維持を図って行きたいと思っています。水泳や10kmマラソンを続けていますので、これも健康のためにできるだけ続けて行きたいと考えています。

対馬への想いは加齢とともに増幅していき、遠くから見守るだけです。平成26年10月、島縦走観光をしてきました。一度遊覧



二列目左端が筆者



新任事務局大崎さんご挨拶

鐘ヶ江さんの後を引き継ぎました長崎北高出身の大崎京子です。
現在子供達も家庭を築き、両親も天国へ送り出しましたので、夫と気楽に暮らしています。毎日楽しく暮らしたいので家族とも喧嘩はしません、夫からは小言を言われる事があります。殆どスルーしちゃうので空気が読めない人間だと思われています。空気は読

まない方が楽なのです。楽しみはテニスと2001年に立ち上げた北高OBの合唱団で歌う事と、食べる事です。
子供の頃の私は年を重ねれば大人に成れると信じていました。しかし結婚しても料理も洗濯も掃除もやりたくないことに変わりはなく、楽な方へと流れてしまう自分にガッカリでした。子供が出来てやらざるを得なくなっ

ては少しだけ成長したかなと思えます。しかし中身の伴った大人の方に会うととても感動してしまいます。中身を磨く努力は必要です。幸いなことに長崎県人クラブには素敵に年を重ねられたマダムや殿方が沢山いらっしゃいます。失敗談も含めていろんなお話を聞かせて頂きたいです。どうぞ宜しくお願い致します。



(写真上) 平成11年旧制瓊浦中学校同窓会にて
(写真下) 昭和53年、中央は初代理事長・今里廣記氏、右端は現副理事長・今泉弘人氏

リタイア後はいずれ長崎市内に戻りたいと仰っていました。ふると長崎でいつまでも元気過ぎてくれます。うお祈り申し上げます。
崎高商卒だったので、銀座に当クラブがある頃、高商の同期会がそこで毎回開かれ、生前父は鐘ヶ江さんにお世話になったと良く申しておりました。思えば、小生は親子二代にわたりお世話になった数少ない会員でした。

鐘ヶ江さん、親子二代でお世話になりました
常務理事 男澤 浩一
昨年(平成26年)9月末付にて鐘ヶ江さんが長崎県人クラブをご退職されました。何え、当クラブの発足時(昭和46年2月)から事務局員として関つて来られたことので、約43年の長きに亘るご奉職にふると長崎をこよなく愛し、純

朴なお人柄が会員から厚く信頼され、また何かにつけ会員から頼られる一面を持つておられました。私事になりますが、私の父が旧長崎高商卒だったので、銀座に当クラブがある頃、高商の同期会がそこで毎回開かれ、生前父は鐘ヶ江さんにお世話になったと良く申しておりました。思えば、小生は親子二代にわたりお世話になった数少ない会員でした。



就任挨拶する山内会長

東京長崎県人会は昨年12月8日、アルカディア市ヶ谷で開いた定時総会で相川賢太郎会長が退任し、新会長に当クラブ理事長で玄海酒造会長の山内賢明氏が就任しました。
相川会長(三菱重工相談役・元社長)は平成4年に就任し、在任期間が22年の長期に及ぶ。

山内賢明理事長が東京長崎県人会会長就任
相川会長は挨拶で「在任期間が22年間に成り私も(平成27年には)88歳になるので、会長を退くことにした。長い間お世話になりました」と会員への謝辞を述べた。東京長崎県人会は正10年に発足、長崎県出身者の関東での親睦団体として活動第12代会長となる山内氏は県人クラブ理事長と兼務となる。また山内氏は長崎県酒造組合会長も務める。歴代会長には松永安左エ門氏、今里廣記氏、宮崎輝氏らが就任。(牧山康敏)

会員デーのご案内

会員の親睦と情報交換の場のひとつとして会員デーを設けています。ご案内します。

【日時】 毎月（8月および休日の日を除く）第2水曜日 午後6時～8時頃まで

【場所】 当クラブ 1階 会議室



今後の予定

- ◎平成27年1月14日(水)
- ◎平成27年2月は第2水曜日が祝日と重なりますのでお休みです。
- ◎平成27年3月11日(水)
- ◎平成27年4月8日(水)
- ◎平成27年5月13日(水)
- ◎平成27年6月10日(水)
- ◎平成27年7月8日(水)

写真は平成26年11月12日の会員デー。長崎の話しをする福本理事。

モンドセレクション13年連続受賞蔵

“美しい味”海を渡って届けます。



まつながやすざえもんおう
松永安左エ門翁

720 ml (43度)



壺岐オールド

720 ml (25度)



壺岐スーパーゴールド22

720 ml (22度)

むぎ焼酎 壺岐

玄海酒造株式会社

本格麦焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

壺岐麦焼酎

かめはだか 山の守

有限会社山の守酒造場



本格麦焼酎
1800 ml (25度)

◎お酒は20歳になってから。

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触85 TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384